新政権のもと「現場に寄り添った農政」を推進
農家の皆さまが本当に求める政策を実現

農家・JAの皆さまからの現場の声を訴え続けた結果、当選当初に比べると国の農政の方向性は私がこれまで主張してきた方に向き始めたと感じる部分はあります。しかし、この風はまだ吹き出したばかりであり、各種補助事業の要件緩和、生産基盤の維持・強化、農村対策の拡充など、もっともっと強い風にしなければならないと思っています。私も同じ派閥に所属する身として全力で応援させていただいた岸田文雄新総裁誕生は大きな追い風になると期待しています。これまでの官邸主導の農政から、総裁選公約通り「現場の声が届く農政」を実現していただきたいと思っています。私もこれまで以上に農家・JAの皆さまからのご意見・ご要望を聞かせていただき、国政の場で代弁し、国会議員でただ一人の専業農家出身議員として、現場感を持って、若者が夢や希望を持てる農業の実現、豊かな田園風景を守る農業者が安定した持続可能な営農ができる政策の確立に努めてまいります。

来年7月には参議院議員選挙があります。全国の農政組織、青年部・女性部組織より推薦をご決定いただきました。農林幹部と言われる先生方のように政策実現への障壁を打ち破るだけの力をつけられるように、議員歴を重ね、これからも中小・家族経営、中山間地農業の維持を政策の一丁目一番地におき、現場が本当に要望する政策実現に向け、全力を尽くしてまいります。

全国農政連より推薦状を拝受

岸田総理・JAグループとの意見交換

JA全青協と政策協定締結

JA全国女性協の洞口会長と
食・農業・女性部について意見交換

現場感覚を忘れぬよう農家としても活動継続中

藤木しんやプロフィール

参議院議員1期目（平成28年7月初当選）

自由民主党　農林部会　副部会長
自由民主党　農林水産災害対策委員会　事務局長
参議院自由民主党　副幹事長

【所属委員会（参議院）】
農林水産委員会 理事
予算委員会
災害対策特別委員会
資源エネルギーに関する調査会

LINE公式アカウント
はじめました！

QRコードから簡単に友達登録！

LINE

藤木しんやの
メッセージや活動などを
タイムリーに発信！

国政報告のご依頼・ご要請など
お気軽に
お声がけください！
皆さんのもとへ
駆けつけます！

藤木しんや後援会

後援会事務所
〒101-0054　東京都千代田区
神田錦町1-23 宗保第2ビル3階
TEL:03-6262-9936　FAX:03-6262-9937

国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館1006号室
TEL:03-6550-1006　FAX:03-6551-1006

藤木しんやホームページ
https://www.fujiki-shinya.com

藤木しんやフェイスブック
https://www.facebook.com/fujikishinya.kumamoto/

参議院議員

藤木しんや活動報告

Fujiki Shinya activity report

特別号
2021年10月

中小・家族経営、中山間地農業の維持、担い手の確保、地域の活性化を実現するために国政で歩んだ5年間の実績

「農家の声を国政に！」実践に向けた取り組み

皆さまのご支援により国政の場に送り出していただいてから5年が経ちました。出馬当初より掲げてきた「農家の声を国政に！」を実践するために、視察やJA等における意見交換会など、JAや産地を積極的に訪問し、農家や青年部・女性部の皆さま、JA役職員の方々より現場の要望や課題をきめ細かく聞かせていただきました。その声を国会や農林水産関係の自民党の部会や議連等において代弁し、現場の様々な要望や課題解決に向けて、与党幹部・政府に働きかけてきました。

私が当選した当初、国が進める農政は市場原理主義的な発想が強く、規模拡大・大規模経営に主軸が置かれており、国の方向性として「規模拡大を続ける農業者だけが優れた経営者。そうした担い手を増やさなければ日本の農業は世界に通用しない」と聞こえんばかりの耳を疑うような発言が部会等で頻繁に出されていました。「これだけでは地域農業は守れない」との思いから、国の方向性を変えるために、国会や自民党の部会などいろいろな場面を通して、「中小・家族経営」や「中山間地農業」への理解と支援拡充などを何度も何度も強く訴えてきました。

私が大きく関わった直近の主な活動と成果

1期目の議員にも関わらず、部会等の国政の場での発言や活動が認められ、農林水産大臣政務官や自民党農林部会副部会長、自民党農林水産災害対策委員会事務局長、自民党畜産・酪農対策委員会事務局長など、政策決定に近い重要なポストに着任し、現場が求める政策実現に取り組みました。

No. 1 新型コロナウイルス対策として手厚い支援策を実現

●「経営継続補助金」は、農林水産大臣政務官として企画段階からJA全中と相談しながら、農林水産省や農林幹部と何度も交渉し、財務省との予算折衝も自ら行い、規模要件も成果目標も無く、中小・家族経営をはじめほとんどの農業者にとって使い勝手が良く、手厚く支援できる仕組みとして措置することができた。（JAグループで10万件超が活用）

予算委員会で厚生連病院の経営対策について問いただす

●コロナ対応に尽力された厚生連病院の経営対策として、農林水産委員会、農林部会、自民党議連等で厚生労働省に対し何度も働きかけ、結果、補正予算や予備費で医療従事者への慰労金や病床確保支援などを確保・拡充することができた。

No. 2 中小・家族経営や中山間地農業対策の拡充

●今後5年間の農政の方向性を示す「新たな食料・農業・農村基本計画」に「中小・家族経営」や「中山間地農業」を大きく位置づけることができた。

●現場から求められていた畜産クラスター事業や産地パワーアップ事業等の拡充や要件の見直しを求め、実現することができた。

●令和4年度予算の概算要求の中に、機械などの導入にあたり中小・家族経営も対象となる持続的経営体支援交付金を盛り込むことができた。

農林部会にて基本計画を議論

No. 3 従来にない災害対策を措置

●台風・豪雨・地震対策においては、果樹園地の早期復旧に向けた特別支援や被災した農業ハウスの復旧・補強対策の拡充など、従来にない手厚い対策を実現することができた。

●今年1月に自民党農林水産災害対策委員会事務局長を拝命し、最初の仕事として雪害や凍霜害対策に取り組み、現場実態をふまえた対策を確保することができた。

被災地にはいち早く訪問し被害状況を把握

事務局長として災害支援策確保に尽力

No. 4 農協改革5年後見直しで准組規制を阻止

●当選当初から農林幹部の先生方と連携して准組規制の阻止に向けあらゆる場面で主張し続けた結果、今年6月には規制は導入されず、准組合員の事業利用は各JAが組合員の判断に基づいて決めるという自民党の公約に沿った内容で決着することができた。

現場の実態をふまえない規制改革は断固として認めないとあらゆる場面で主張

私が今後やっていきたいこと！

農業・農村における主な課題

- 新型コロナウイルスの影響による農産物の需要減退・価格低下
- 高齢化・担い手の減少
- 自然災害の激甚化・頻発化 地球温暖化
- 耕作放棄地の増加等による農地の減少

❶新型コロナウイルスの影響等をふまえた対策を実現

●中小・家族経営の持続的生産の支援や労働力確保支援対策の継続・強化
●国産農畜産物の需要回復・拡大対策の継続・拡充

❷多様な担い手の育成・確保対策や農地対策を充実・強化

●人・農地プランに中小・家族経営など多様な担い手を位置づけ、支援強化を実現
●親元就農も含む新規就農支援の充実
●農地の持続的利用・集約化に向けた農地対策の拡充

❸グリーン（環境調和）社会・農業を実現するための環境整備

●「みどりの食料システム戦略」は、地域の実態をふまえ、具体的かつ実効性のある施策を構築
●国消国産・地産地消など国民運動推進とその支援策の確保

❹現場実態を十分ふまえた規制改革

●規制改革実施計画に基づき、JA の「不断の自己改革」の取り組みを全力で後押し
●これまで行った規制改革を検証し、多くの生産現場のための改革が進む体制を構築

現場実態をふまえた農業政策実現の中心となる議員仲間を増やすために勉強会を発足させました。

勉強会より党農業基本政策検討委員会委員長へ米政策について申し入れ

第5回若手議員勉強会